

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15058

保育所運営事業（市立）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保育こども園課	深瀬 琢	435-1064
事業実施の根拠法令	和歌山市立保育所条例	関連課	子育て支援課		

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要				
	対象：和歌山市立保育所入所児童 目的：保育を必要とする児童に保育の実施を行い、保育指導計画に基づき児童の養護及び心身の健全を図る。		市立保育所の運営に要する人件費及び保育の実施に必要な諸経費を支出する。				
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
		市立保育所の入所児童の処遇に関する業務及び施設の維持管理	市立保育所の入所児童の処遇に関する業務及び施設の維持管理	市立保育所の入所児童の処遇に関する業務及び施設の維持管理	市立保育所の入所児童の処遇に関する業務及び施設の維持管理	市立保育所の入所児童の処遇に関する業務及び施設の維持管理	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	571,747	442,326	549,747	443,609	540,937	444,169	540,937	0	540,937	0
伸び率（%）	△11.9%	△18.9%	△3.8%	0.3%	△1.6%	0.1%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	22,772	21,657	16,833	30,098	27,897	24,382	24,457	0	0
	正規職員以外	2,514	3,138	3,296	3,125	3,356	3,356	7,308	0	0
	小計	25,286	24,795	20,129	33,223	31,253	27,738	31,765	0	0
国庫支出金	15,998	19,810	19,279	19,241	19,580	18,341	19,580	0	19,580	0
県支出金	6,369	16,655	8,606	11,580	10,366	9,169	10,366	0	10,366	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	69,797	49,013	66,591	51,180	62,891	51,664	62,891	0	62,891	0
一般財源（税等）	479,583	356,848	455,271	361,608	448,100	364,995	448,100	0	448,100	0
所要人数 （人）	正規職員	2.86	2.72	2.17	3.88	3.73	3.26	3.27	0.00	0.00
	正規職員以外	1.23	1.53	1.53	1.44	1.51	1.51	2.28	0.00	0.00
主な予算内訳	報酬218,516千円、需用費163,329千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
和歌山市立保育所数	保育所	目標値		14	14	13	13	13
		実績値		14	14	13		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	
市立保育所入所児童数	人	目標値		10000	10000	10000	10000	10000
		実績値		10197	9797	9450		
		達成度(%)		102%	98%	94.5%	%	
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	様々な保育需要に対応できるよう、特別保育等保育内容を充実していく。
見直し・改善内容	多様な保育サービスの提供により、保護者のニーズに応えていく。